ぼれぼれケアセンター青山 訪問看護 運営規程

(事業の目的)

第1条 社会福祉法人うねび会が開設するぼれぼれケアセンター青山訪問看護（以下「訪問看護」という。）が行う指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、訪問看護の看護師その他の従業者（以下「看護師等」という。）が、要介護状態又は要支援状態にあり、かかりつけの医師が指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の必要を認めた高齢者（以下、「要介護者等」という。）に対し、適正な指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護（以下「指定訪問看護等」という。）を提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 訪問看護の看護師等は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活動作の維持、回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるように支援する。

2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 ぼれぼれケアセンター青山 訪問看護
- (2) 所在地 奈良県奈良市青山4丁目3-3

(職員の職種、員数及び職務内容)

第4条 訪問看護に勤務する職種、員数及び職務内容は、次のとおりとする。

- (1) 管理者 1名
管理者は、訪問看護の従業者の管理及び指定訪問看護等の利用申込に係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行う。
- (2) 看護師等 保健師、看護師又は准看護師 2.5名以上
理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士 実情に応じた適當数を配置する
看護師その他の従業者は、(介護予防)訪問看護計画書及び(介護予防)訪問看護報告書を作成し、指定訪問看護等の提供に当たる。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日 月曜日から日曜日までと。

- (2) 通常サービス提供時間帯 午前9時から午後6時までとする。
- (3) 電話等により、24時間常時連絡が可能な体制とする。

(訪問看護の内容及び利用料等)

第6条 指定訪問看護等の内容は次のとおりとする。

- (1) 病状の観察、健康管理（血圧・体温・脈拍・酸素飽和度などのチェック）
 - (2) 身体の清拭、洗髪、入浴介助、口腔ケアなど
 - (3) 整容、更衣の介助
 - (4) 栄養管理、水分管理、食事の介助など
 - (5) 排泄の援助や介助、オムツ交換など
 - (6) 褥瘡予防の工夫や指導、褥瘡処置など
 - (7) カテーテル管理
 - (8) ガン末期や終末期などでも自宅で過ごせるような適切なターミナルケア
 - (9) 在宅酸素などの医療機器の管理
 - (10) 医師の指示による医療処置
 - (11) リハビリテーション
 - (12) 認知症看護・介護の相談
 - (13) ご家族への介護指導・相談
 - (14) 介護用品の管理・指導
- 2 指定訪問看護等を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該指定訪問看護等が法定代理受領サービスであるときは、利用者の負担割合の額とする。
 - 3 次条の通常の事業の実施地域を越えて行う事業に要した交通費は、その実費を徴収する。
100円/1km
 - 4 死後の処置料は、30,000円（税込）とする。
 - 5 前2項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。

(通常の事業の実施地域)

第7条 通常の事業の実施地域は、奈良市、木津川市の区域とする。

(緊急時等における対応方法)

第8条 看護師等は、指定訪問看護等を実施中に、利用者の病状に急変その他緊急事態が生じたときは、必要に応じて臨時応急の手当てを行うとともに、速やかに主治医に連絡し、適切な処置を行うこととする。

(虐待の防止)

第9条 事業者は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次に掲げる措置を行う。

- (1) 事業所内における虐待防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催し、その結果を訪問看護師に周知徹底を図る。
- (2) 虐待防止のための指針の整備
- (3) 事業所内において、訪問看護師に対し、虐待の防止のための研修を定期的に開催する。
- (4) 前号に掲げる措置を適切に実施するため担当者を設置する。

(感染症予防、まん延防止の対策)

第10条 事業者は、事業所内において感染症が発生し、又はまん延しないように次の措置を講じます。

- (1) 事業者内における感染症の予防又はまん延の防止のための検討委員会をおおむね6月に一回以上開催するとともに、その結果を訪問看護師に周知徹底を図る。
- (2) 感染予防・まん延防止等のための指針の整備
- (3) 事業所は、訪問看護師に対し、感染症の予防又はまん延防止のための研修及び訓練を定期的に実施する。

(業務継続計画の策定等)

第11条 事業者は、感染症又は非常災害の発生において、利用者に対する訪問看護の提供を継続に実施するための計画及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画(「業務継続計画」という。)を策定し、その計画に従い必要な措置を講じます。

- (1) 事業者は、訪問看護師に対し業務継続計画について周知するとともに必要な研修及び訓練を実施します。
- (2) 事業者は、定期的に業務継続計画の見直しを行い必要に応じて計画の変更を行う。

(苦情解決)

第12条 提供した訪問介護に関する利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置するものとする。

- 2 事業所は提供した訪問看護に関し、市町村が行う文書その他の物件の提出もしくは、提示の求め又は当該市町村の職員からの質問もしくは紹介に応じ、及び利用者からの苦情に関して市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。

(その他運営についての留意事項)

第13条 訪問看護は、看護師等の資質向上を図るための研修の機会を次のとおり設けるものと

し、また、業務体制を整備する。

(1) 採用時研修 採用後3カ月以内

(2) 継続研修 年12回

- 2 従業者は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
- 3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容とする。
- 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は社会福祉法人うねび会と訪問看護の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附則 この規程は、令和7年4月1日から実施する。